

不確定

僕よ しづかに考へごとをしてゐる もう一人の僕よ  
君は横を向いてゐる  
僕も横を向いてゐる  
僕は横目を使つて君の方を見てゐる  
窓の中で君は椅子に腰かけてゐる  
風が吹いて緑の葉がいつせいにひるがへつた瞬間  
君は手をのばして コップの水を飲みはじめた  
片手で口に近づけ  
無色のものを光らせながらくちびるの中に  
まるで考への中味をそそぎこむかのやうにして飲みはじめた  
僕よ つまり 君のことだ  
生きるといふのは心の中に水をそそぎこむことなのだらうか  
緑の木の葉の時にも 紅葉した木の葉の時にも  
乱れるやうに舞ふ雪の季節の時にも  
考へそのものを自分の中にそそぎこむことなのだらうか